

事業報告書

1. 事業名
遺伝子組換え実験安全研修会
2. 事業目的
文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。
3. 開催期間
平成 30 年 7 月 28 日（土）10 時 00 分～16 時 00 分
（台風接近のため終了時間を 13 時 00 分に繰り上げて終了）
4. 開催場所
名古屋国際会議場 会議室 141,142
5. 主催
全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 主催
国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 共催
6. 後援
文部科学省
7. 参加機関
国立大学法人 31 校、私立大学 17 校、
国立研究開発法人・大学共同利用機関法人・公益財団法人 10 機関、
民間研究所等 17 組織
合計 75 機関 参加者合計 133 名

8. 事業概要

プログラムに従って、午前中は遺伝子組換え実験計画書の模擬審査がいくつかの事例を交えて取り上げられ、会場の参加者からの質問及び討論の後、演者からポイントの解説が行われた。

午後は、文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室 廣谷龍輔専門職によるカルタヘナ法の説明が行われた。引き続き、埼玉大学 畠山晋准教授の組換えキノコ・カビ・コケの拡散防止措置の解説が行われた。続いて、アステラス製薬 辻井栄作氏より感染性バキュロウイルスの除去方法の話題が報告された。

参加者へのアンケート調査を行った結果、実務で活用できるテーマが取り上げられており、大変有意義であったとのことであった。今後もこのような機会があれば積極的に参加したいとの意見が多数寄せられた。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター
- ② 当日スナップ写真



第10回遺伝子組換え実験安全研修会

実験計画書審査のツボ！！

日時

2018年 7月28日(土) 10:00～16:00

場所

名古屋国際会議場 会議室141、142
名古屋市熱田区熱田西町1-1



地下鉄名城線「西高蔵駅」(2番出口)もしくは
地下鉄名港線「日比野駅」(1番出口)下車、
駅から徒歩5分

研修内容

午前の部：10:00～12:00

遺伝子組換え実験計画書の模擬審査

午後の部：13:00～16:00

カルタヘナ法について(文部科学省)

組換えキノコ・カビ・コケの拡散防止措置について

個別に寄せられる相談事項

総合討論

申込方法

公式WEBサイトからお申込みください



主催：全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会
共催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議
後援：文部科学省

お問合せ：
全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 事務局
E-mail: aapgs@knd.biglobe.ne.jp

研修会当日のスナップ写真

